

いしかわ里山塾(志賀班)の活動成果と今後の課題

団体名●いしかわ里山塾(志賀班)／代表者名●北村梨乃(経済学部経営学科3年)

はじめに

現在志賀町では高齢化や人口減少が進行している。また、若者の都会への流出が増加している。そこでふるさと学習による児童の主体的な学びが地域への愛着と誇りとなり、将来のUターンに影響を与え、児童が地域人材の担い手となることを目的としている。

富来小学校における出前授業の内容

日時：2020年1月20日(月) 11:20～12:05

会場：志賀町立富来小学校

対象：5年生 23人

- 11:20～
- ・はじめ挨拶・世界農業遺産とは
 - ・座学「TOGIXの成果報告及び各地域資源の紹介」
 - ・クイズ「志賀町クイズ」
 - ・グループワーク「今後地域資源の活用方法を私たち一人一人ができることは何か？」(写真①参照)
 - ・各グループ発表
 - ・まとめ
 - ・アンケート調査
- ～12:05
- ・終わりの挨拶



写真① グループワークの様子
2020/1/20 (撮影者：川澄先生)

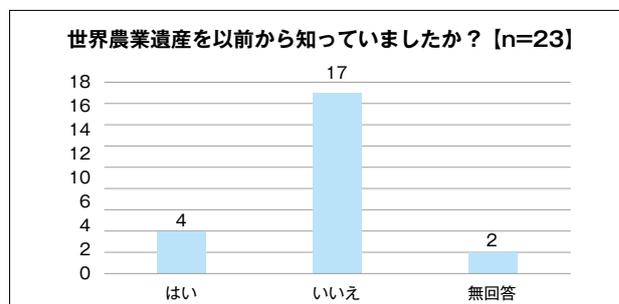
活動の成果

富来小学校の児童の皆さんが積極的に授業に参加してくれたことで学生も児童も真剣に地域資源について考えることができた。クイズも児童が楽しく参加することができた。グループワークでは学生が想像していたよりも児童には学習に対して積極的な姿勢があり、地域資源を守る多くのアイデアが各班で見られ、学生側も一緒に学ぶことができた。

また、授業を通して、志賀町の将来を担う若者である児童たちが、地域資源の魅力を再認識したり、里山里海が世界農業遺産に登録されていることを知ったりすることができた。これにより、地域への愛着や誇りの醸成に繋がっただろう。

今後の課題、展望

授業後に実施したアンケート結果から、世界農業遺産を知らなかった児童が過半数を超えていた。また、志賀町に住みたいかという質問に対して、いいえが2人いた。このことから、今後ふるさと教育を通して志賀町に戻りたい、志賀町が好きだと思ってもらえるか工夫する必要がある。また、世界農業遺産について認知度を高めるために、学生や児童たちが里山塾以外でも積極的に自身が住んでいる地域特有の資源の魅力について世代間を超えて発信していく必要がある。



【参考文献】

- ・人口構成 / 人口推移 RESAS 地域経済分析システム (2020年2月19日閲覧)
- ・志賀町 HP (2020年2月19日閲覧)
<https://www.town.shika.lg.jp/index.htm>